

年報

こころの樹

事業報告 平成28年度(2016年度)


tv asahi welfare foundation

テレビ朝日福祉文化事業団

検索

社会福祉法人 テレビ朝日 福祉文化事業団

はじめに

テレビ朝日福祉文化事業団は、おかげさまで多くの皆さまからご理解、ご協力をいただき、平成29年(2017年)8月に創立40周年を迎えることとなりました。昭和52年(1977年)にテレビ朝日が母体となって、民間放送系でははじめての社会福祉法人として設立され、「児童福祉」「障がい者福祉」「高齢者福祉」「母子福祉」など、時代の要請に対応しながら社会福祉事業に取り組んできました。これまでご支援して下さった皆さまに、厚く感謝を申し上げます。

障がい者福祉では、創立当初からハンディスキー(障がい者スキー)や車椅子バスケットボールに関わり、第1回から主催者として名を連ねています。回を重ねるごとに全国から集まる選手たちの絆も深まり、「ハンディスキー全国親善大会」は、第40回記念軽井沢大会として多くの参加者を得て成功裡に開催され、「車椅子バスケットボール秋季大会」も平成29年度に第40回を迎えます。また、障がいのあるなしにかかわらず、一緒に音楽を楽しめる「トゥレヴァン コンチェルト」は、障がいをもつ音楽家の方々にご協力いただき、心に響くコンサートとして、1,000人を超える聴衆を魅了しました。

子どもを取り巻く問題に関心が向けられている中で、次の時代を担う子どもたちの育成に少しでも貢献できるよう、当事業団ではいろいろな児童福祉事業を行っています。「高校生の海外生活体験の旅」や「農村ホームステイ体験の旅」「子どもキラット!楽演祭」など、児童養護施設で生活する子どもたちのための事業を、子どもたちに喜んでもらえるよう工夫をこらして、これからも継続していきたいと思います。さらに母子福祉では、母子生活支援施設で生活している親子を対象として、テレビ局を身近に感じて、楽しい一日を過ごしてもらうことを目的に「テレビ朝日見学体験ツアー」を開催しています。平成28年度は、乳幼児をかかえる方も参加できるように、六本木ヒルズ内にある託児所を用意し、外出する機会が少なくなりがちなお母さんと子どもたちに、たいへん喜んでいただきました。

高齢者福祉では、昭和62年度から始まった「高齢者施設訪問」が中心となっていますが、合計回数が208回を数え、平成29年度には30周年を迎えます。平成28年度もプロ歌手の皆さんが施設を訪問して、懐かしい曲を披露し、会場を埋め尽くした方々とともに、笑顔あり、涙ありのひと時を過ごしました。

平成29年4月1日から改正社会福祉法が全面的に施行となり、社会福祉法人は多くの対応を求められています。創立40周年の節目を迎える当事業団も、定款を変更し、役員・評議員の体制が変わりました。また、改正法が施行される前の平成27年度から「地域における公益的な取組」(地域公益活動)を手がけ、女優・中井貴恵さんの朗読公演「音語り 東京物語～小津安二郎映画を聞く～」 「音語り あらしのよるに」などを、自治体や社会福祉協議会などと連携して実施しています。

テレビ朝日福祉文化事業団は、気持ちを新たに、平成29年4月1日から1年間を「創立40周年期間」として、記念事業を実施する予定です。そして、「共生～隔たりのない世界～」を願って、皆さまとともに「こころ」をつにして、テレビ局の特性を生かしながら、さまざまな社会福祉事業を推進してまいります。

今後とも、皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団

社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団は、昭和52年(1977年) N E T からテレビ朝日への社名変更を機に、より幅広い社会福祉活動を目指して設立されました。昭和26年(1951年)制定の社会福祉事業法[平成12年(2000年)社会福祉法に法名改正]に基づき、社会福祉の増進を図ることを目的として、第二種社会福祉事業を行う社会福祉法人として申請・認可されたものです。

Contents

● Pick up

第8回 トゥレヴァン コンチェルト 2 ～ 3

～テレビ朝日に集合～ テレビ朝日見学と特別講座 4 ～ 5

● 児童福祉 6 ～ 14

● 母子福祉 15 ～ 17

● 障がい者福祉 18 ～ 23

● 高齢者福祉 24 ～ 25

● 地域公益活動 26

● その他の福祉事業 27

● 平成28年度事業一覧 28

● 平成28年度会計報告 29 ～ 30

● その他 31 ～ 33

今年度は、児童養護施設で生活する子どもたちを対象に、テレビ朝日の館内見学と出前授業を組み合わせた「～テレビ朝日に集合～テレビ朝日見学と特別講座」を新たに実施しました。テレビ局の仕事を説明することで、テレビやメディアについて考えたり、実際に館内のスタジオなどを見学し職業選択の幅を広げてもらうことが目的で、テレビ局らしい企画と好評をいただきました。

民間放送系でははじめての社会福祉法人として設立された当事業団は平成29年度に創立40周年を迎えます。今後もテレビ局らしさを取り入れながら、社会福祉事業に取り組んでいきたいと思っています。

略語解説

(福) 社会福祉法人
(特) 特定非営利活動法人
(公社) 公益社団法人

(一社) 一般社団法人
(公財) 公益財団法人
(一財) 一般財団法人

(社) 社団法人
(財) 財団法人
(株) 株式会社

●第8回 トゥレヴァン コンチェルト

主催

「トゥレヴァン
コンチェルト」
(「トゥレヴァン」は
フィンランド語で
「未来の」「将来の」
という意味)は、
障がい乗り越え
ながら音楽の道を
歩んでいる方々に
演奏する場を提供
するとともに、「未来に向けてチャレンジする」素晴らしさを知っていただくことを目的として、2009年から継続して開催し、今回が8回目となりました。

今回は品川区のご後援をいただき、品川区民芸術祭2016協賛事業として会場をきゅりあん8階大ホール(品川区立総合区民会館)に移して開催しました。前回同様スペシャルゲストに左手のピアニスト舘野泉さんとヴァイオリニストの川島成道さんという世界的に活躍する2人のアーティストを迎え、皆さんの注目度も高く、一般招待は抽選となるほどのご応募をいただきました。秋雨前線が停滞し、午前中は激しい雨となりましたが1,000人を超える方が来場されました。例年通りご年配の方や車椅子の方、盲導犬を連れた方、白杖を持つ方の姿が多く見られ、第1回からボランティアで運営に参加していただいている共催の東京六本木ライオンズクラブ、東京原宿ライオンズクラブ、協力の日本郵政グループ労働組合東京地方本部の方たちが丁寧に声掛けや案内を行いました。



司会のテレビ朝日
久保田直子アナウンサー



▲入場者で賑わうロビー

会場内でも盲導犬と共に▶

ソプラノの橋本夏季
さんがムジークフェ
ライン室内楽団と共
演しました。そして、
休憩を挟んでスペ
シャルゲスト2組が
登場。まずは7年連
続で出演している世界的ヴァイオリニストの川島成道
さんが美しい音色を披露しました。クラシック音楽の
名作6曲を軽妙なお話を交えながら演奏した後、アンコ
ールにバッハの「G線上のアリア」を弾くと、会場から称
賛の声と大きな拍手が沸き起こりました。最後に、病
に倒れながらも2004年に左手のピアニストとして復
帰を遂げ、80歳を迎えてますます精力的に活動が続け
る舘野泉さんが紹介されると会場には待ちかねたよう
に拍手が響きわたりました。左手だけで演奏している
ことを感じさせない多彩な音色と表現力に聴衆は魅了



スペシャルゲスト舘野泉さん



スペシャルゲスト川島成道さん

日 程	平成28年10月8日(土)
場 所	きゅりあん8階大ホール(東京都品川区)
主 催	テレビ朝日福祉文化事業団
共 催	東京六本木ライオンズクラブ 東京原宿ライオンズクラブ
後 援	品川区・東京都社会福祉協議会 品川区社会福祉協議会・テレビ朝日
協 力	日本郵政グループ労働組合 東京地方本部



観客の拍手に笑顔でこたえる出演者



ピアノ

舘野 泉

1936年、東京生まれ。60年東京藝術大学首席卒業。64年よりヘルシンキ在住。68年メシアン・コンクール第2位。世界各国で行った演奏会は3500回をこえる。02年脳出血により右半身不随となるが、04年「左手のピアニスト」として復帰。旭日小綬章受章(08年)ほか受賞歴多数。左手ピアノ音楽の集大成「舘野 泉フェスティヴァル〜左手の音楽祭2012-2013(全16回)」を開催。ベルリンやパリでのリサイタルは全聴衆総立ちのスタンディング・オーベーションで讃えられた。著書『命の響』(集英社刊)ほか。最新CD「サムライ」(エイベックス・クラシックス)。南相馬市民文化会館(福島県)名誉館長。日本シベリウス協会最高顧問、日本セヴラック協会顧問、サン・フェリクス＝ロウラゲ(ラングドック)名誉市民。
<舘野 泉公式HP http://www.izumi-tateno.com>



ヴァイオリン

川島成道

1971年、東京生まれ。視覚障害を負った幼少期にヴァイオリンと出会い、音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、97年英国王立音楽院を同院史上2人目となるスペシャル・アーティスト・ステイタスの称号を授与され首席卒業。98年のデビュー以来、英国と日本を拠点にソリストとして精力的な活動を展開し、毎年多くのリサイタルと国内外の主要オーケストラとの共演を行う。CDは1st・2ndアルバムがそれぞれ20万枚の記録的大ヒットとなって以来13枚をリリース。デビュー当初より積極的にチャリティコンサートを行うほか、中学・高校教科書に映像や文章が使用されるなど社会派アーティストとしても多方面に影響を与えている。第2回「Tulevan Concerto」より毎年出演している。
<川島成道オフィシャルサイト http://www.kawabatanarimichi.jp>



松山 実紗子
ピアノ

東京都出身。5歳よりピアノを始める。筑波大学附属盲学校(現、視覚特別支援学校)高等部音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻を卒業。後同大学カレッジティプロマコース修了。2013年夏、オーストリア・ウィーンにて、ウィーン国立音楽大学マスタークラス受講。V・ローゼンバウム氏に師事。現在、ピアノソロ、器楽や声楽の伴奏などでコンサートに出演。



橋本 夏季
ソプラノ

1989年、東京生まれ。4歳よりピアノを始める。2007年、東京藝術大学音楽学部声楽科に初の全盲の学生として入学し、卒業時に同声会賞を受賞。2011年、同大学大学院修士課程へ進み、2014年3月に修了。二十歳の時、東京2009年アジアユースパラゲームズにて国歌「君が代」を独唱。現在、地元あきる野市のレジデンシャルアーティストとして活動を展開中。



ムジークフェライン室内楽団

2009年、早稲田大学フィルハーモニー管絃楽団、慶應義塾ワグネル・ソサィエティオーケストラ両楽団の元コンサートマスター、首席奏者を中心に結成。楽団名の「Musikverein」は楽友協会の意で、学び舎は違えど4年間の大学生活を共にしてきた「学友」が、「楽友」となっていく音楽を創り上げたいという願いが込められている。2010年より「Tulevan Concerto」に毎年参加。社会貢献を積極的に取り組んでいる。

ご来場の皆さまの声(抜粋)

- ★一緒にした方が、ソプラノの橋本夏季さんの歌に感動し、自分も年を取って健常者の中にいると辛いこともあるのに、視覚障害者でありながら、健常者の世界で頑張っている姿を思い浮かべ、涙を流していました。
- ★座席が前から2列目になり、出演者の声がホールの響きとして聴くのではなく生の音を身近に聴けて感激しました。
- ★ソプラノの橋本夏季さんの声が自然で、素晴らしい声で感動しました。川島さんの演奏は相変わらずの技術の高さにうっとりさせられました。舘野さんの演奏も80歳とは思えなかったです。ペダルタッチが素晴らしく、左手だけの演奏とは思えない演奏でした。
- ★皆さん安定した技術で、それぞれ素晴らしかった。前から3列目の席のせいなのか、音一つ一つがはっきりと聞こえ楽しませていただきました。
- ★私は右半身が麻痺しております。右手が不自由です。しかし、舘野さんの演奏を聴いて驚きました。感動しました。
- ★左手の演奏は途中から片手だということを忘れるぐらい聴き入ってしまった。
- ★ただならぬ練習の毎日。たくさんのこと乗り越えながらの日々の向上、挑戦する姿を教えてください。

- ★皆さん、素晴らしく大変良かったです。特にゲストの方が、演奏の前に曲の説明をされてから演奏に入ったので鑑賞しやすかったです。川島さんのアンコール曲は、エレクトーンで練習してた曲だったので、感激しました。
- ★どなたの演奏も素晴らしく感動しました。ピアノ・松山さんの演奏は、先頭バッターだったので緊張していた様子でした。会場が駅から大変近く、移動が楽でした。
- ★川島さんの演奏は一言でいうと内なる魂がかなでる歌に揺さぶられた感じでした。舘野さんはおだやかなお人柄がにじみ出ていて、しかしてその演奏は片足をひきずりながら出ていらしたとは思えない静かな中であって厳しさを感じられるものでした。大震災で作られた曲のあの約2オクターブの3音は耳に焼きつきます。
- ★障がいがあってもなくても演奏に変わりなし。人は障がいの有無ではなく演奏される曲に感動する。
- ★この頃気持ち沈みがちだったのですが、川島さんの演奏で感動の涙を流しました。
- ★いつも思うが、終了後のとても暖かい空気を感じる。「生」にまっすぐに向かっている皆さんの力ででしょうか…

● ～テレビ朝日に集合～ テレビ朝日見学と特別講座

主催



本物のテレビカメラは大人気

昨年度からテレビ局員が児童養護施設に赴き、わかりやすくテレビ局の仕事の説明することで、テレビやメディアについて



大型スクリーンで勉強

子どもたちが考えたり、職業選択の一助となるように出前授業を始めましたが、大きな会場を持っていない施設や10人以上の対象となる児童が集まらない施設も多いため、今年度新たにテレビ朝日見学と出前授業の授業内容を組み合わせた「～テレビ朝日に集合～児童養護施設で生活する児童のためのテレビ朝日見学と特別講座」を行いました。

秋雨が続き天候が心配されましたが、久しぶりに太陽が顔を覗かせ汗ばむ陽気となった9月の最終日曜日、テレビ朝日2階のプレゼンルームに群馬県、埼玉県、東京都から4施設14人の参加者が集まりました。参加者は少し緊張した面持ちで施設毎に着席、全体説明の後の簡単な自己紹介も消え入るような小声になってしまふ児童もいましたが、大型スクリーンに映し出された自分たちの生の映像を見ると皆恥ずかしがりながらも自然と素敵な笑顔になりました。

館内見学に先立ちテレビ朝日の仕事を15分にまとめたDVDを鑑賞し、いよいよ約1時間の見学に出発で



美術セットに興味津々

す。テレビ朝日お客様フロント部担当者の先導でウェザーセンター・ニュースCG室などを見学した後、普段報道ニュース番組で使用されている第4スタジオへ。スタジオセットの配置が使い勝手よく工夫されている事や天井から無数に釣り下がっている照明の説明などを聞きました。番組で使用する小道具から大道具、スタジオセットまであらゆる物を作っているコーポレートデザインセンターでは、実際にドラマやバラエティー番組で使用された小道具に興味を持ち、手に取ったり重さ確かめてみたり。最後にニューススタジオをガラス越しに見学してから、64スタジオで気象予報士に扮した参加者と天気図を合成するクロマキーセットやニュース原稿読みを実体験し、盛りだくさんの館内見学は終了しました。

後半の特別講座は、まず報道カメラマンの仕事に特化した「巨匠へのステップ講座」から開始しました。報道カメラマンの仕事をわかりやすく説明した映像と、現場のカメラマンならではの苦労話や心得、スクープ映像の裏話などテレビを見ているだけではわからない話に参加者たちは皆耳を傾けていました。続いて起立して発声練習、

ニュース原稿を映像に合わせて読む練習などをし、最後に事前に用意してきた各自の好きな物についてインタビューする架空の番組「これが私の好き

な物」のインタビュー番組制作を体験しました。4つの施設がそれぞれチームとなってインタビュアー、ゲスト、カメラマン、フロアディレクターの役割を決め、まずは机の前で練習をしてからチーム毎に本番を体験しました。ゲストを2人にしたチームや1分くらいで終わってしまうチームと番組の内容はまちまちでしたが、どのチームも練習の成果を披露、他のチームの分までフ



発声練習

ロアディレクターをやってくれたり、照明を持ってくれたり、皆自分の役割を楽しんでいました。最後にカメラを担がせてもらい、参加者の中には「思ったより軽いよ」と感想を漏らす児童もいて「カメラマンに向いてるね」との講師の一言も。予定時間をオーバーし3時間半にも及んだ館内見学と特別講座ですが終了後も講師やスタッフと歓談する姿も見られ、皆疲れを見せずに帰路につきました。

館内見学の感想でスタジオの照明や美術の道具などテレビ局らしい部分に興味を持った参加者もいたよう



原稿の読み方をスタッフに質問

参加児童の感想(抜粋)

☆Kさん 中3

テレビ朝日の中を見て、とても広くて働いている人の大変さがわかりました。誰かのために働くことは大事だと、この経験を通してわかりました。

☆Yさん 小6

テレビ朝日に見学にいっているんなことが学べました。自分がしらないことををして、いいきかいをいただきありがとうございました。

☆Hさん 担当職員

職員含め日常では体験できない機会を頂けたことに感謝しております。これから生きていく上での学びとなることを願います。

☆Hさん 中3

テレビ番組の作り方を一から学ぶことができました。Mステはすごい量のしょうめいを使っていてすごいと思いました。(特別講座では)人前であまり話をしたことがなかったのでもううれしかったです。

☆Hさん 中2

普段体験できないところをたくさんしれてよかったです。ニュースの天気予報を言う体験もさせてもらってよかったです。

☆Tさん 担当職員

テレビが大好きな子どもたちにとっては実際に撮影をしている場所やカメラ、照明などを間近で見ることが出来、とても貴重な経験になったことと思います。カメラに映る自分を見る事、アナウンサーになりきって原稿を読むこと、インタビュアーになって質問する事、子どもたちにとっては初めての素晴らしい経験になりました。帰宅後に楽しかったと話す様子や将来テレビのスタッフになろうかなという話をしていました。

で、今後テレビを見る時に今日の体験を思い出し将来に向けての視野を広げてくれればと思います。

学校単位と比べて参加者同士が初対面なうえ小学生から高校生までと幅広く、通常の見学や講座とは異なりましたが、事前準備をしてきてくれた参加施設の職員の方々、広報局お客様フロント部、報道局映像センター、OBの皆さんの協力を得て初回を無事終了することができました。協力していただいた皆様に心から感謝申し上げます。

日 程 : 平成28年9月25日(日)

場 所 : テレビ朝日(東京都港区)

4施設14人
参加者 : (小学生1人、中学生6人、高校生2人、引率者5人)
東京・埼玉・群馬の児童養護施設

主 催 : テレビ朝日福祉文化事業団

協 力 : テレビ朝日 広報局お客様フロント部
テレビ朝日 報道局映像センター

児童福祉

●第16回児童養護施設で生活する 高校生の海外生活体験の旅

主催



ホストファミリーを招いたさよならパーティー

児童養護施設で暮らす高校生が海外生活を体験するプログラムを今年も実施しました。この企画は今回で16回目、シアトルでの実施は7回目です。書類選考・面接を実施した結果、男子3人・女子7人の計10人が審査を通過し参加しました。

成田から飛行機に乗って約9時間半後、生まれて初めての海外ホームステイの旅に期待と不安を胸にシアトル空港に降りた10人でしたが、無事に入国審査を終え荷物を受け取ると、少し疲れた様子ではあるものの早速携帯を取り出しWi-Fiを探したり自撮りをしたり。今どきの高校生の適応力に驚かされました。

マイクロソフトやボーイング社などの企業やワシントン大学の見学ツアー、シアトルマリナーズの大リーグ観戦、マウントレーニア山麓トレッキング体験、そ



セーフコ・フィールドで大リーグ観戦

して1家庭に1人ずつ預かっていただくホームステイがこのプログラムの重要な柱です。参加児童たちが自分の力で現地の生活に溶け込み、言葉の壁に四苦八苦しても色々な人と交流する力を自然に身につけてもらうためですが、ホームステイ初日の夜を過ごした翌朝には「言葉が通じない」「言っていることが分からない」などと悲鳴を上げていた参加児童たち。どうなることやら…と少し心配したもの、ホストファミリーと過ごした週末が明けると見違えるような明るい顔で「聞き取れるようになった」「コミュニケーションをとるこ



フードバンクでボランティア



ワシントン大学見学

とができるようになった」「楽しい」と報告してくれました。

会話することを目的とした英語レッスン、地元のボランティアに参加したフードバンクでの食料回収と配布仕分け、アメリカの広大な自然に触れたマウントレーニア山麓での散策、大リーグ観戦などで日本とアメリカの違いを体感し、どのプログラムも思いきり楽しんだ10人。学年も性別も住んでいる地域も違う10人がホームルームや移動中に前の晩の出来事やホストファミリーの話をする様子はまるで昔からの友人のようでした。

ホストファミリーを招いてのさよならパーティーでは参加児童たちが司会や進行、芸の披露など色々な役割をこなし、日本文化紹介のプレゼンテーションをした後、ホストファミリーに感謝の気持ちを込めたお礼の手紙を渡しました。感極まって泣いてしまう児童をファミリーが皆でハグしてくれる様子はこのプログラムの意義を感じさせ、胸が熱くなる光景でした。また、英語レッスンの先生から渡された英語授業の修了証を皆晴れやかな顔で受取っていました。

始まった時には長く感じた7



さよならパーティーでは輪になって盆踊り

日間はあっという間に過ぎていきました。大きな冷蔵庫に圧倒され、甘すぎて大きすぎるお菓자에驚き、レストランでは食べ残しのお持ち帰りを経験。知らない人同士が陽気に言葉を交わすフレンドリーなアメリカの文化と日本の文化の違いを肌で感じ、皆がこの海外生活体験の旅を十分に楽しんでいました。お別れの朝には「7日間は短すぎる」「もっとシアトルにいたい」「シアトルにこのまま住む」と口を揃えて訴えていた児童たち。それは文化の違いや言葉の壁を感じさせないホ



初体験の異国の地で何を思う…

参加高校生の感想文(抜粋)

☆Aくん 17歳

僕は将来は英語を使う仕事をしたいと考えておりますが、今回のアメリカ旅行でその思いをより一層深めることとなりました。ホームステイ先には7歳と3歳の子がいましたが、ご両親はその子供たちと同じような優しさで僕に接してくださり、とても嬉しく、安心できました。一番感じたのはいろいろな場面で接したアメリカの方々の優しさでした。

☆Mさん 16歳

野球の観戦は日本と全く異なり、観客でウェーブをしたりライブのようでした。野球観戦はホストファミリーも一緒に試合終了後にホストマザーがマリナーズのグッズをくれたときは思わず涙が出そうになりました。

☆Rさん 18歳

トイレや自動販売機、食事やお菓子などどれをとっても日本は丁寧かつ細やかであり、それはあたりまえのことではなく、素晴らしい事なのだ改めてわかりました。アメリカの多様な考え方や価値観に触れて、私の視野はかなり広がりました。

☆Yくん 15歳

飛行機に乗り込んだとき不安と楽しみの気持ちが入り混じりました。ホストファミリーとの対面の時とても緊張しました。ホストファミリーはフレンドリーで驚きました。私のつたない英語を聞き取っていただきアメリカ人の優しさが伝わりました。

☆Nさん 17歳

この1週間はすごく短かったけれど、本当に刺激のある1週間でした。別れがつかないで涙腺がおかしくなるくらい悲しかったけれど、楽しかったし、一生の思い出として残るなと思っています。

ストファミリーの温かい気持ちがあったからだと思います。特別なことだけをするのではなく、生活を共にし、ハグしてくれて、お弁当を持たせてくれ、家族と同じように気にかけてくれる気持ちは何よりも心地よく子どもたちを包み込んでくれました。勇気をもって新しい世界へ一歩を踏み出した彼ら、後押ししてくれた関係者に感謝しながら、この経験を人生の糧とし視野を広く持って今後の生活に生かしてくれることを願っています。

日程：平成28年7月27日(水)～8月4日(木) (7泊9日)

場所：アメリカ ワシントン州シアトル市

参加者：高校生10人(男子3人、女子7人)
東京・神奈川・埼玉の児童養護施設

主催：テレビ朝日福祉文化事業団

共催：(福)東京都社会福祉協議会児童部会

後援：(公財)原田積善会

☆Hさん 17歳

休日には、ホームステイ先の娘さんがショッピングに連れて行ってくれて、また翌日は私の誕生日をレストランでお祝いしてくれました。他の施設の子ともみんな話せて仲良くなれて楽しかったです。

☆Sさん 16歳

私の夢は国際協力関係の仕事です。今回の旅でお世話になった人たちに恩返しをいつかしたいと思うことができました。ホストファミリーとは英語が話せるようになってからもう一度会いたいです。

☆Hくん 17歳

私は海外体験の旅にあまり参加したいと思いませんでした。自分は英語が全然できなく行っても何もできないと思いました。しかしホストファミリーが翻訳アプリで通訳してくれたりとても親切でその不安もなくなりました。

☆Kさん 16歳

アメリカの文化に私はとても感動しました。特に良い制度だと思ったのは、レストランで食べきれなくなった物を家に持ち帰れる制度です。またスーパーの袋は燃やせる紙袋だったり、家では生ごみや手を拭いた紙もリサイクルしたり、水を日本よりも大切に使う意識が強いと思いました。

☆Mさん 17歳

私が思った以上に世界は小さく、とても広いと感じました。まだ知らない世界があると思うと、不安より期待の方が大きくなっていきます。自分の考えに留まるのではなく、もっと視野を広げることが重要だと思いました。「英語・異文化を学ぶ」だけでなく「人生を学ぶ」旅になったと思います。

●第4回農村ホームステイ体験の旅 in遠野

主催



ホストファミリーの農家ででの貴重な農作業体験

今年度も児童養護施設で生活する小学校高学年と中学生を対象に、積極性・社会性・協調性などを養い、視野を広げる一助として4回目と



山に囲まれた美しい遠野の田園風景

なる「農村ホームステイ体験の旅」を実施しました。農村でいろいろな事を体験してみたいと応募してきた児童の中から、小学校5年生1人、6年生2人、中学生7人の10人を選考、8月17日～21日、4泊5日の日程で、岩手県遠野市で農業を営む10軒の農家（ホストファミリー）に1人ずつ預かっていただき、ホームステイをしながら、野菜作りや収穫、牛の飼育など農業を実際に体験してもらいました。

初日、東京駅に集合した子どもたちは、東北新幹線で新花巻に向け出発しました。子どもたちの中には、新幹線に乗るのが初めてという子もいて、一様に緊張した様子でした。新花巻駅からは観光バスで遠野市に向かいました。地元のガイドさんに、昔の豪農の家“曲り家”やカップ伝説のカップ淵などを案内してもらいました。

当日の夕方、いよいよホストファミリー10軒の皆さんとの対面式。バスの中では、元気におしゃべりしていた児童たちも、このときは、緊張した面持ちで、お世話になるホストファミリーの家に向かいました。

2日目は朝から雨が降ってしまい農作業ができない

子どももいましたが、3日目には雲一つない晴天に恵まれて、児童たちは、預かってくださったホストファミリーと朝早くから作業を行っ



トマトの収穫をお手伝い

て、収穫した野菜の仕分けと袋詰め作業などを体験しました。また、収穫した椎茸を使った料理をいただき、「椎茸がほんとうにおいしい」と言って何杯もおかわりして食べる子もいたようです。生活環境が変わって、調子が出ない子もいましたが、ホストファミリーに慣れてくると、元気に畑のお手伝いをしていました。牛の出産に遭遇して、自然と涙が出てしまったという子は、生まれた牛の名づけ親になれたことがうれしくて「来年、遠野に戻ってきたい」と話していました。



被災地、陸前高田市で米沢ビルを訪問

4日目は東日本大震災の被災地、陸前高田市を訪ねました。児童たちは、午前中に遠野をバスで出発して、小雨が降る中、「奇跡の一本松」を見学。その後、津波の中、高さ約15mのビルの煙突にしがみついて一命をとりとめた米沢祐一さんを訪問し、特別にビルの屋上4Fのその場所にのぼらせてもらい、壮絶な体験をうかがい、津波の恐ろしさを実感しました。

夕方遠野に戻り、サヨナラパーティーを行いました。最後に、壇上で児童たちが一人ずつ、遠野でのホームステイの感想とファミリーへのお礼などを綴った「感謝の手紙」を発表しました。途中、思わず泣き出してしまふ児童もいましたが、ホストファミリーと温かくて楽しい時間を過ごすことができた遠野での最後の夜となりました。

4泊5日「農村ホームステイ体験の旅」の最終日。東京へと戻る児童たちが、ホストファミリーから頂いた野菜など、お土産の入った大きな荷物を持って、それぞれのホストファミリーと一緒に遠野駅に集まってきました。お別れの挨拶をし、児童たちは名残惜しそうに電車に乗り込み、駅の改札から手を振るホストファ

ミリーに見送られ、遠野を後にしました。

ホストファミリーの皆さんが、初めて会う児童に温かく接してくださり、気遣いや気苦労もあったと思いますが、最後まで児童たちを家族のように見守ってくださったことに感謝申し上げます。帰京後に、施設長や担当職員の方々に参加した子どもたちの様子を伺うと「遠野から戻っても、遠野での楽しかったことが忘れられない様子で話をしている」と聞くと嬉しく、今回の「農村ホームステイ体験の旅」の体験が、いつかどこかで、児童の将来に役立つことを願っています。

参加児童の感想文(抜粋)

☆中3男子

将来の夢は、農業に関わる仕事をする事。農作業のお手伝いをして気づいたことは、「農作業は同じことを繰り返して地道に作業することが大切だ」ということです。毎日それを続けるためには、「体力や集中力がとても必要だ」と思いました。

☆中2男子

きゅうりの収穫をしたり、ドジョウを取ったり楽しかったです。夜は花火をしたり、マシュマロを焼いて食べました。

☆中1男子

初めて新幹線に乗りました。箱根登山電車と違ってすごく静かでした。3日目に田んぼに行ってアイガモにえさをやったり、マキ積みをしました。頑張ったので、ご褒美に夜ごはんは馬刺しを頂きました。4日目に陸前高田市にいて、実際に被災した人から津波の話を聞いて「津波が危険だ」と思いました。

☆小6男子

農業体験では、最初「こんなの簡単だろう」と思っていたが、思った以上大変、体がクタクタになりました。被災地では津波で助かった人の話を聞きました。3階建てのビルの上の煙突で1日を過ごしたと聞いて「よくあんな高い煙突の上で1日乗り切れたな。僕にはできない」と思いました。

☆小5男子

キャベツやレタスの収穫をしました。大変だったのは、朝がはやいことでした。レタスは茎を切って収穫するので、立ったりすわったりが大変でした。

参加ホストファミリーの感想(抜粋)

- ☆一度話してみると進路とか将来へ向けての考えがしっかりしていて、とても気遣いのできる良い子でした。
- ☆子どもと遊んでくれて、畑仕事も一生懸命手伝ってくれました。とても楽しい時間を過ごすことができて、子どももまた会いたがっているほどです。
- ☆各家庭で体験したことを子どもたちが生き生きと話していて良かったなと思いました。
- ☆折り紙で‘ドラゴン’を折ってくれました。作り方を教わったりして一緒に折り紙をしたことが印象に残りました。
- ☆今年で4人目ですが、毎年どんな子がくるのかのなかあと楽しみです。仕事が好きで、一生懸命働いてくれました。

☆中3女子

ホストファミリーは家族が9人の大家族で、牛やエミュー、ほかにはインコやモルモットもいる大きな農家でした。ホストファミリーから、「私たちは、あなたのことを家族だと思っからね」と最初に言われ、その一言が、とてもあたたかいたと思いました。4日目に、牛の赤ちゃんが生まれて、「小町」と名前をつけてホストファミリーが喜んでくれたので、私もうれしくなりました。

☆中2女子

ホストファミリーに会った時緊張で手が震えて胸がドキドキしました。車に乗って家に行き、夜ごはんのハンバーグをいっしょに作って、仲良くなれました。2日目は、朝4時30分におきて、しいたけハウスに行き収穫をしました。

☆中1女子

ハウスの中で、ホストファミリーとトマトやきゅうりを収穫が楽しくて何個も取ったのを覚えています。被災地に行つて津波がきた場所では、足が震えるくらい怖かったです。

☆中1女子

被災地の陸前高田市に行ったり、農家の大変さや、収穫できる喜びなど、多くのことを学びました。将来の夢が看護師なので、陸前高田市に行つて話を聞いたら、人のためになりたい、人を助けたい、という気持ちが強くなりました。

☆小6女子

とったばかりのブルーベリーからジャムをつくりました。翌日、朝ごはん、パンに昨日つくったブルーベリージャムをぬって食べました。おいしくてびっくりしました。

- ☆サヨナラパーティーは、最後はみんな盛り上がりって良い雰囲気が出せたのではないのでしょうか。
- ☆人見知りする傾向があると聞いていたがはっきりと自分の意見の言える受け答えのしっかりした子だと思いました。
- ☆活発な生徒さんでした。施設でのしつけがよくされているんだなと思いました。食事のマナーなど我が家の子供たちにも色々面倒をみてもらいました。
- ☆初めての土地で知らない人に会うのはとても緊張したと思いますが、挨拶もきちんとしてくれました。農作業でも、台所でも野菜等の調理をしてもらっても、とても丁寧で感心させられました。
- ☆素直な子どもだと思いました。今年で3人目でしたが、みんないい子でした。この先ずっと見守ってあげたいと思います。

● 第5回 子どもキラット！ 楽演祭

主催



本番を終えて、みんな笑顔で記念撮影



合唱で練習の成果を発揮

「子どもキラット！楽演祭」は「子どもたちに日頃の歌やダンスの練習成果を発表する場を設けてほしい」という児童養護施設の関係者からの要望で実現し、子どもたちの明るく健全な個性を育むことを目的として平成23年度から開催し、今年度で5回目となります。

東京・埼玉・神奈川の13施設から総出演者数のべ279名が参加、見学者を含め約550名が東京・虎ノ門のニッショーホールに集まり、幼児、小・中学生、高校生と職員が、歌やダンスなど14演目を熱演しました。司会は、テレビ朝日の森葉子アナウンサーと「高校生の海外生活体験の旅2016」に参加した男子高校生が担当しました。大舞台での初めての司会でしたが、森アナウンサーと共に楽しんで進行役を務めてくれました。スペシャルゲストの小島よしおさんや応援ゲストの卒園生も登場し、会場は笑顔と熱気にあふれました。

当日、朝早くからリハーサルのために続々と子どもたちが集合してきました。どの施設もこの日を楽しみに練習を重ねてきただけに、本番開始はまだまだ先にも関わらず職員も子どもたちも皆真剣、立ち位置の確認



バンド演奏で熱唱

や楽器の調整など舞台監督や照明・音響のスタッフとの打ち合わせに余念がありません。

観客も集まりいよいよ本番、会場

もたちにも、舞台袖で待機する子どもたち、職員の方たちにも緊張が走ります。今年度はキッズゴスペルを皮切りに、バ



ノリノリのヒップホップダンス

ンド演奏、合唱、創作ダンス、日本舞踊、トーンチャイム演奏、ヒップホップダンス、ストリートダンスと多彩な演目が披露され、初参加の施設が和太鼓演奏をするなど一層バラエティーに富んだラインナップとなりました。どの発表も皆緊張しつつも楽しみながら、日頃の練習の成果を存分に発揮し、また、他施設の演目の鑑賞も刺激になったのではないかと思います。

ここ数年のダンスブームでダンスの演目が多く、皆のダンスのレベルも格段にアップ、自分たちで振り付けを考えたとチームもありました。揃いのTシャツや趣向を凝らした衣装を着て舞台いっぱいに堂々と踊る皆の元気が会場にも伝わってきます。トーンチャイム、ハンドベルの演奏では忙しい体の動きとは裏腹に澄みきった豊かな音色が会場を包み、広い舞台をいっぱいに使って名曲のメドレーやユニークな合唱曲を歌う合唱やバンド演奏では会場全体に歌声が響きました。皆



初参加の和太鼓演奏

が思い思いのポーズを決めたり、トランペットやギターの演奏に合わせて歌いながら自由に体を動かすなどユニークな創作ダンスでは、演じている子どもたちも大人たちも存分に楽しんでいるようでした。かわいらしい少女の踊りや、激しい獅子を表現する日本舞踊では着物や動きの美しさ、初参加の和太鼓演奏での圧巻の



小島よしおさん登場で会場は大盛り上がり

轟きに、日本の伝統芸能の良さを受け継いでくれていることを嬉しく思いました。スペシャルゲストのお笑い芸人、小島よしおさんが第1部の最後に登場すると子どもたちから大歓声があがりました。お決まりのネタ「そんなの関係ねえ!」から「よしおのイチマンジャク」「ごぼうの歌」などを披露、ギャグを連発しながら子どもたちと絶妙な掛け合いをすると会場の興奮も絶調に達し、最後に子どもたちを舞台上に上げ「そんなの関係ねえ!おっぱっぴー」とポーズを決めると会場は大爆笑の渦に包まれました。第2部では、応援ゲストの卒園生BANRIさんも抜群のテクニックのブレイクダンスで会場の皆にエールを送りました。

エンディングはスペシャルゲストの小島よしおさんも交え、舞台にたくさんの子びっ子たちが集まって「幸せなら手をたたこう」を全員で合唱。小島さんのリー

ドで会場全員が手をたたいたり足をならしたりと最高に盛り上がり、最後の記念撮影でも興奮が冷めやらず、笑顔と元気に溢れた約4時間の「楽演祭」は楽しく終了しました。

共催の東京都社会福祉協議会児童部会、後援・助成いただいた原田積善会、後援のテレビ朝日、施設関係者の方々ははじめ、ご協力、ご尽力いただいた皆さまに感謝いたします。



大勢の気持ちが一いつになって会場に響き渡りました

日 程 : 平成28年11月20日(日)

場 所 : ニッショーホール(東京都港区)

主 催 : テレビ朝日福祉文化事業団

共 催 : (福)東京都社会福祉協議会児童部会

後 援 : (公財)原田積善会・テレビ朝日

参加施設の感想文(抜粋)

- ☆本格的なステージで発表ができる機会は他にはないのでとても貴重な体験で、参加した子どもたちはまた参加したいと言っている。
- ☆大きな会場での発表は大きな目標で練習の活力となり、成功体験を通じて自信になっていると思う。
- ☆どの施設もステージに立つ子どもたちが1人1人キラキラと輝いていて感動した。子どもも職員も観客や出演の両者になることで、より空気が一体となっていた。
- ☆演目がバラエティーに富んでいて観覧も楽しめた。高校生の司会が上手だった。
- ☆子どもたちの達成感に満ちた姿を見られてよかった。
- ☆当日の子どもたちは緊張してしまい練習の成果が出しきれなかったが、人の前で発表することでとても良い経験になった。
- ☆どの施設の出し物も大変楽しませてもらった。特に照明の効果が客席にまで届いていて好印象だった。
- ☆各施設一生懸命取り組んでいてとても感動した。

- ☆昨年参加したときに他施設の児童との交流をする機会があり、そこで交流した児童同士が再会できるといった喜びもあった。
- ☆初参加だったがとても楽しく参加できた。ゲストに子どもたちも興奮して一緒にネタをやったりと楽しんでいた。中には握手をしてもらえたと嬉しそうにしている子どももいてとても良い時間になった。
- ☆沢山の施設の発表を見られて楽しかった。自分たちの発表では2演目とも立派なステージ、演出の中で伸び伸び発表でき、皆の感想も満足そうだった。
- ☆施設文化祭の頃から参加しており年に一回の子どもたちが発表できる場があるという事はとてもよいと思っている。
- ☆子どもたち全員が「子どもキラット!」を目標にしている。発表を含めて準備から当日を迎えるまでの間で子どもたちの沢山の成長を感じられる。また、他施設の取り組み、発表を見られてよかった。毎年子どもたちが緊張したけど楽しかったという声を聞けることも嬉しい。

江戸っ子杯争奪

●東京都児童福祉施設競技大会 2016 野球の部

共催 助成

三鷹市大沢総合グラウンドで「江戸っ子杯東京都児童福祉施設競技大会2016 野球の部」は8チーム111名の児童が参加して開催され、2日間で12試合の熱戦を繰り広げました。今年度も審判員は、三鷹市軟式野球連盟の皆さんに全面協力していただきました。



里崎智也氏を迎えての開会式

開会式は、元プロ野球選手でスポーツコメンテーターとしてもお馴染みの里崎智也氏をお招きし、里崎さんから「ルールを守って、最後まで諦めずにプレーしてください」とエールが送られました。始球式後、里崎さんと参加者有志との直接対決も特別に行われ、里崎さんが投げた球を見事にジャストミートした参加者は、「プロの選手の球を打てた!」と大喜び、大変な盛り上がりを見せました。

大会1日目は2面のグラウンドを使って予選の8試合が行われ、関東地方が梅雨明けした2日目には、10時から準決勝2試合、13時30分から決勝戦と3位決定戦が行われました。「ベトレ

ム学園」と「調布学園」の決勝戦では、灼熱の暑さにも負けずに頑張る選手たちに大きな声援が送られました。「ベトレム学園」がまず5点を先制す



熱戦をくり広げる児童たち

る展開となりましたが、2年連続の準優勝で涙をのんできた「調布学園」が、念願の初優勝を果たしたいとの気迫で、2回に大量6点を奪い一挙に逆転、さらに得点を重ね15対5のコールドゲームで見事優勝を飾りました。試合終了後には選手たちが向井監督を胴上げして初優勝を祝福しました。3位決定戦は、「目黒若葉寮」と「精舎児童学園」で争われ、「目黒若葉寮」が6対2で勝利しました。



調布学園が初優勝

閉会式では、テレビ朝日福祉文化事業団から優勝～4位までの各チームにトロフィー、最優秀選手賞の他、副賞としてバット、グローブセット、参加者全員にスポーツタオルを贈呈、熱中症や事故などなく2日間にわたる大会が無事閉幕しました。

日 程 : 平成28年7月27日(水)～28日(木)

場 所 : 三鷹市大沢総合グラウンド(東京都三鷹市)

主 催 : 東京都社会福祉協議会児童部会

共 催 : テレビ朝日福祉文化事業団

後 援 : 東京都・三鷹市・(公財)毎日新聞東京社会事業団・(公財)報知社会福祉事業団 ほか

●児童福祉施設職員のためのワークショップ

主催 助成

子どもの気持ちに寄り添い、関心を持って耳を傾け共感することで子どもの行動の背景にある感情を理解し、問題行動に対応する方法を学ぶ1泊2日の児童福祉施設職員のためのワークショップが開催されました。

児童福祉分野に従事するスタッフは、より高度で専門的なトレーニングが求められています。今年度も、1980年代から児童虐待、ネグレクトの問題に取り組み、また日米の子どもと家族の治療に関わってこられた心理学博士の田中万里子先生(サンフランシスコ州立大学名誉教授)を講師にお迎えしました。実践的な理解を深めるため、事前に参加者から提出してもらった課題についてオープンに話し合い、現在起こっている事象

についての理論的な裏付けを学んだ後、その知識を現場でどのように活かしていくかについてケースごとのディスカッションとコンサルテーションを行いました。

日 程 : 平成28年10月18日(火)～19日(水)

場 所 : パレスホテル立川(東京都立川市)

主 催 : テレビ朝日福祉文化事業団

事務局 : (特)エンジェルサポートセンター

●第61回 全国里親大会 茨城大会

共催

日 程 : 平成28年11月12日(土)～13日(日)

場 所 : 茨城県立県民文化センター(茨城県水戸市)

共 催 : 厚生労働省・茨城県・(公財)全国里親会・茨城県里親連合会・テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第58回 慈彩会展

後援 助成

慈彩会は自然を愛し美を愛する各界の有志で、日ごろから絵画・書・工芸などに親しむ方々が集い、“社会福祉施設に絵を贈る運動”として1958年(昭和33年)に発足しました。毎年日本橋三越本店で「慈彩会展」を開催、出品作品はすべて作者から無償で提供され、社会福祉施設に寄贈されています。また希望者への販売も行われ、収益金は助成金として社会福祉活動に役立てられます。



会場は日本橋三越

この展覧会には、常陸宮妃殿下から「新年歌会始の詠進お歌」(書)の特別御出品をはじめ、また趣旨に賛同した方々より総計164点もの作品が出展されました。



6日間にわたり多くの人が来場

会場には、洋画・水彩画・日本画・書・工芸・写真と多岐にわたる素晴らしい作品が所狭しと飾られ、中には思わず笑いを誘うユニークな作品や、100歳の作者の「ちぎり絵」などもあり、見ごたえのあるものとなっていました。

またご購入いただいた方の

似顔絵をその場で描くサービスも行われ、来場者に好評でした。

これまでに全国の福祉施設に贈呈された作品は累計で5301点、延べ3674施設、助成金は8170万7千円となりました。



絵画が並ぶ展示会場

日 程 : 平成28年7月13日(水)～18日(月・祝)

場 所 : 日本橋三越本店(東京都中央区)

主 催 : 慈彩会

運営事務局 : (一社)日本民生文化協会

後 援 : 厚生労働省・東京都・テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第62回 関東甲信越静里親研究協議会 茨城大会

後援 助成

日 程 : 平成28年11月13日(日)

場 所 : 茨城県立県民文化センター(茨城県水戸市)

主 催 : 関東甲信越静里親研究協議会、茨城県里親会連合会、(公財)全国里親会

後 援 : テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

こどもの国お正月行事 ●ジャンボカルタとり大会、どんど焼き

後援 助成

毎年恒例となっているこどもの国でのお正月行事、「ジャンボカルタとり大会」と「どんど焼き」が開催されました。「ジャンボカルタとり大会」は穏やかな天候に恵まれたお正月に、中央広場で「ジャンボ百人一首大会」と合わせて行われました。自由参加で親子合わせて約150名が元気いっぱい走り回って札を取り、景品のお菓子もプレゼントされました。また、1月14日(土)は同じ中央広場で伝統的な正月行事の一つ「どんど焼き」が行われました。持ち寄った松飾り・書初め・願い事が書かれた短冊を付けた笹の木などを燃やし、厄払いや無病息災、諸願成就を願いました。少し風が強い天気、どんど焼きの炎は勢いよく舞い上がり瞬間に燃え終わりました。毎年、テレビ朝日福祉文化事業団は、どんど焼きに参加する子供たち(先着300名)



大きなボードのカルタとり

に焼き芋をプレゼントしています。大きなドラム缶で蒸し焼きにした焼き芋を手にとった子供たちは、どんど焼きの残り火に当たりながら美味しく食べていました。

こどもの国が開園以来、約50年続いている恒例行事「ジャンボカルタとり大会」と「どんど焼き」は、お正月の風物詩となっています。



新春の空に燃え上がるどんど焼き

ジャンボカルタとり大会

日 程 : 平成29年1月2日(月)~3日(火)

どんど焼き

日 程 : 平成29年1月14日(土)

場 所 : こどもの国(神奈川県横浜市)

主 催 : (福)こどもの国協会

後 援 : テレビ朝日福祉文化事業団

●「憩いの家」資金バザー

後援

日 程 : 平成28年12月17日(土)~23日(金・祝)

場 所 : 日本橋高島屋(東京都中央区)

主 催 : (福)青少年と共に歩む会

後 援 : テレビ朝日福祉文化事業団

●日本児童養護実践学会 第9回研究大会

後援

日 程 : 平成29年2月25日(土)

場 所 : 目白大学 新宿キャンパス(東京都新宿区)

主 催 : (一社)日本児童養護実践学会

後 援 : 厚生労働省・テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

母子福祉

●母子のための テレビ朝日見学体験ツアー 2016

主催



報道ステーションSUNDAYのスタジオ見学

平成26年度から取り組んだ母子福祉事業「母子のためのテレビ朝日見学体験ツアー」を今年度も実施しました。この企画は、住所を公表しない母子生活支援施設で暮らすお母さんと子どもをテレビ朝日に招待し、外出して気分転換を図ってもらうこと、他の施設で暮らす親子や引率支援員との交流、テレビ局を身近に感じて楽しい一日を過ごしてもらうことを目的としています。

これまで3歳以上のお子さんとお母さんが対象でしたが、今年度から3歳未満のお子さんを持つお母さんにも参加していただけるよう、託児所を用意しました。

春は5月と6月に3週連続で実施。ハイライトは、生放送中の「極上!旅のスズメ」で、スタジオのドアのガラス戸越しに見学しました。生放送終了時には、司会の草野仁さん、5/22ゲストの具志堅用高さん、5/29ゲストの舞の海さんが子どもたちに握手してくれて、全員大感激!また、6/5ゲストのいっこく堂さんは、お人形を持って見事な腹話術を見せてくれました。「有名人に会えた!」「握手してもらえた!」とみんな大興奮。温かいもてなしに感動しました。次にお昼のANNニュース放送中のスタジオをガラス越しに見学。放送の仕組みを興味深そうに見入っているところに、「極上!旅のスズメ」出演の竹内由恵アナウンサーが登場!!一緒に記念撮影をしました。写真をお送りすると「一生ものですね」「竹内アナウンサーがやさしかった」「会えて嬉しかった」など感動のお手紙がたくさん届きました。そして社内食堂では食べ放題に、お代わりを何度もしたり、大人気のソフトクリームを片手に満面の笑み。食後にはテラスで気持ちよさそうに子どもたちが遊んでいました。午後は美術セット見学。「歓迎!母子のためのテレビ朝日見学体験ツアー 御一行様」の旗に歓声



竹内アナウンサーの説明に興味津々

があがりました。美術スタッフがこの日のために用意してくれたものです。「報道ステーションSUNDAY」の新しいセットの見学も人気を集めました。6/5には番組で使うランキングボードの機械を子どもたちの声に合わせて動かしてくれ、「スタート!」とわれ先にみんなチャレンジしました。

秋のツアーでは、「報道ステーションSUNDAY」の生放送直前のスタジオ見学が実現し、ハイライトとなりました。コースは、「ANNニュース」放送中のスタジオ見学(ガラス越し)→社内食堂での昼食→屋上散策→美術セットの模型や小道具見学→ニュースCG室→ウェザーセンター→アトリウム自由観覧→「報道ステーションSUNDAY」リハーサル見学→アナウンサーとの記念撮影という流れです。お昼のANNニュース放送中のスタジオ見学は、3才~5才の小さい子にも人気で、全員、放送の仕組みに興味深そうに見学しました。食後は、初めて会った子どもたちが一緒に遊び、テレビ朝日稲荷にも興味津々でお参りしていました。美術見学の後のアトリウム自由観覧では、「のび太の部屋」に寝転んだり、「徹子の部屋」のセットでお客様になったり、テレサショップで買い物を楽しむ親子も目立ちました。最後に生放送前の「報道ステーションSUNDAY」スタジオへ行き、サブキャスターの平石直之アナウンサーや、久富慶子アナウンサーと一緒に写真を撮りました。キャスターさながらに子どもたちが番組のセットに座り、笑顔でポーズをとりました。記念にお贈りした写真立ては大変喜ばれ、記憶に残る一日になったようです。

今年度新設した託児所付きのプランは3組が利用し、「上の子と二人だけの特別な時間を過ごせてよかった」という貴重な声も届きました。

スタート当



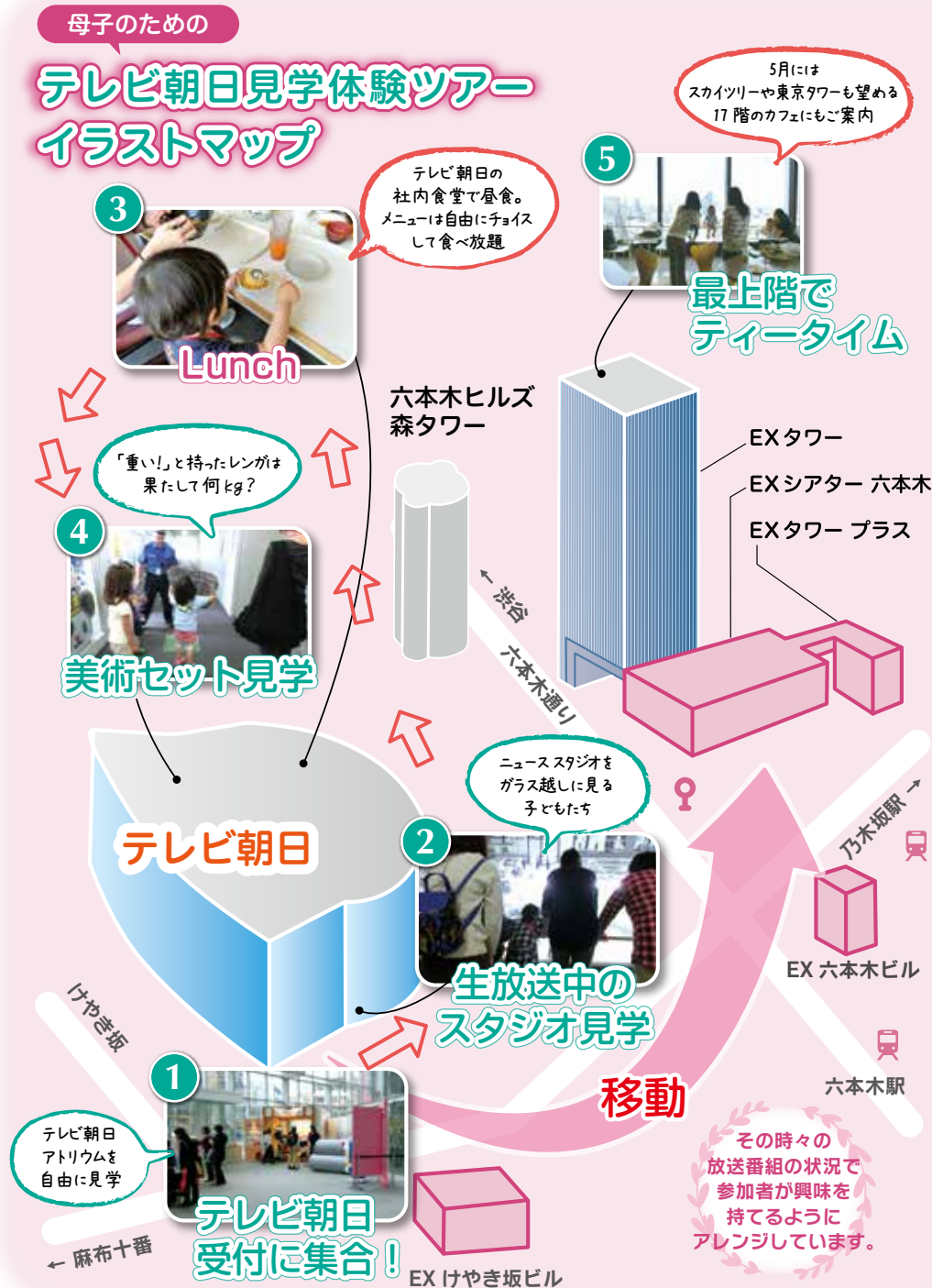
テレビ朝日本社の食堂も訪れました

初、年2回春に開催(24人招待)予定で始めたこのツアーは、毎年定員の倍以上の応募があり、3年間の参加者は合計177人、14回ツアーを開催しました。

今後も母子生活支援施設で生活する親子に喜んでいただけるようこの事業を継続していきたいと思ひます。

実施に当たり、ご支援いただいた関東ブロック母子生活支援施設協議会と、テレビ朝日各部署の多大な協力に感謝します。

日程：	平成28年5月22日(日)、29日(日)、6月5日(日) 10月16日(日)、23日(日)、11月13日(日)
場所：	テレビ朝日(東京都港区)
参加者：	母子29組、78人 未就学児童14人、小学生20人、中学生4人、高校生1人ほか 東京、神奈川、千葉 のべ20施設 ※託児所利用3人
主催：	テレビ朝日福祉文化事業団
後援：	関東ブロック母子生活支援施設協議会



参加者からの感想文(抜粋)

☆板橋区Dさん、3歳女子

「テレビの中」に興味を持ち始めた娘とテレビの裏側を拝見できたことは、親子共に貴重な体験となりました。中でも特に娘は竹内アナウンサー様とお写真を撮れた事が嬉しかった様で、その後もお見かけする度に「お姉さんだね」と言って喜んでおります。娘は毎日御社で購入したドラえもんを抱いて眠っております。

☆千葉市小4女子

私のくつをなおしてくれたお兄さん(警備さん)ありがとう。足がいたくなった時にばんそうこうを張ってくれたスタッフの方、ありがとうございました。一日とても楽しくすごせて幸せでした。

☆千葉市母子生活支援施設職員

子どもたちにもテレビ局にいるような種類の仕事があること、将来を考えるうえで知ってもらいたい機会だと思いました。日頃仕事に追われるお母さん達もいいエネルギーをもらえたと思います。

☆川崎市小1男子

一番嬉しかったことは、握手してもらえたことと写真撮ってもらえたこと。いつもテレビ観ているから、中に入れて楽しかった。ゴーちゃん。のおみやげが嬉しい。

☆府中市Fさん、小3男子

ぼくは、テレ朝で3番目くらいに広い放送室で写真をとったことや、上の階から生ほうそうを見たことが楽しかったです。

☆千葉市母子生活支援施設職員

施設全体の方針で各世帯と職員がマンツーマンで関わる事が難しく、とても良い機会になりました。

☆葛飾区Kさん、小5女子、1才女子(託児所利用)

久しぶりに上の娘と二人っきりの時間を過ごすことができたこと、普段映像で見ているテレビ局の裏側を見学させて頂いたこと、親子共々とても楽しく貴重な体験をさせて頂き感謝しております。

☆墨田区小3男子

ぼくは、クレヨンしんちゃんや、ドラえもんがすきなので、とても見学するのが楽しみでした。前の夜、ぜんぜん、

眠れませんでした。のび太くんのへやで同じポーズをしてしゃしんをとったのが、とくに楽しかったです。

☆墨田区母子生活支援施設長

参加した児童は、テレビ局を見学できるという貴重な機会に対して、終始、緊張していたようですが、工作が得意な長所から、日頃テレビで見かけるスタジオセットや制作物を、興味津々に眺めている姿がとても印象的でした。

☆横浜市Mさん、中1男子

小さな世界で生活している息子にとって、今回ツアーで本当に大きく世界が広がりました。TV朝日のCG技術や小道具のリアル感に感動し、将来の選択肢が増えたようです。帰宅後久富アナと平石アナ、報道ステーションSUNDAYをいつもと違う顔で観ていました。

☆横浜市Sさん、小1男子

久富アナウンサーと撮っていただいたお写真もいい思い出になり、とてもうれしかったです。親子ともにテレビ朝日には好きな番組がたくさんあります。

そんなテレビ朝日の社内を見学させていただき、ますます大好きになりました。これからもテレビの前で放送を楽しみにしています。ありがとう。

☆横浜市母子生活支援施設職員

さまざまな過去を背負い、母子での生活を続けて施設に辿り着いた方々。心の癒しの取戻し・課題解決・自己回復等に向けての生活の中で、今回のご招待は、子ども達・母親にとって大変喜ばしいことであります。また、ご丁寧に写真を送っていただきまして、言葉にならない感激でした。

☆千葉市Sさん、4才男子

「報道ステーションSUNDAY」を生放送直前のリハーサルを見られて良かった。テレビで見ているよりも、お姉さんがキレイだった。社食がキッズメニューまで作ってくださり、有難うございました。社食美味しかったです。

☆千葉市母子生活支援施設職員

「ゆっくりでいいですよ」とその都度話していただけたので、ゆったり楽しめました。スタジオでアナウンサーと写真を撮ってもらうことができて、緊張しましたが、嬉しかったです。



障がい者福祉

●第39回 車椅子バスケットボール秋季大会

共催 助成



男女混合の熱い戦い

神奈川県平塚市の馬入ふれあい公園ひらつかサン・ライフアリーナで車椅子バスケットボール秋季大会が開催されました。テレビ朝日福祉文化事業団は、第1回からこの大会を主催しており、今年度で39回を迎えました。当日は、今にも降り出しそうな曇空でしたが、日本車椅子バスケットボール連盟登録チームの中から東北、関東、東海の13チーム（約130名）がA、B、C、Dの4ブロックに分かれ、男女混合で熱戦を繰り広げました。車椅子バスケットボールは、1960年のパラリンピック第1回大会から実施している競技で、障がい者スポーツの中でも世界的に知名度が高く人気がある競技です。秋季大会は競技会の他に多くの人に車椅子バスケットボールを楽しんでもらうことも目的としており、実際に車椅子でバ



全国から13チームが集まりました

スケットボールを扱う難しさを体験できるように、希望者のための競技体験会も同時に行われました。車椅子に乗った出場選手たちが、激しくボールを奪い合う姿は迫力満点、普段接しているバスケットボールとは一味違った魅力に溢れていました。大会結果は、Aブロックでは「クラブ東海」、Bブロックでは「ELFIN」、Cブロックでは「Team ZERO」、Dブロックでは「湘南スポーツクラブ」が勝利し、各優勝チームには賞状、当事業団の楯、連盟のトロフィー、副賞がそれぞれ授与されました。リオデジャネイロで開催された夏季パラリンピックで車椅子バスケットは大いに注目されました。2020年、東京でのパラリンピック開催へ向けた選手育成が既に始まっています。

日 程：平成28年10月9日（日）

場 所：ひらつかサン・ライフアリーナ（神奈川県平塚市）

主 催：（一社）日本車椅子バスケットボール連盟

共 催：テレビ朝日福祉文化事業団

後 援：平塚市・平塚市教育委員会

協 力：平塚バスケットボール協会

●第40回 ハンディスキー 全国親善大会（第40回記念軽井沢大会）

共催 助成

ハンディスキー全国親善大会が、第40回記念軽井沢大会として長野県軽井沢プリンスホテルスキー場で開催されました。テレビ朝日福祉文化事業団は今年創立40周年を迎えますが、この大会を第1回から主催しています。記念すべき年を共に迎えることができたことは大きな喜びです。



絶好のスキー日和



大勢の選手達が軽井沢に集合

この大会はスピードやタイムを競うだけでなく、障がいのあるなしにかかわらず全国の仲間が共にスキーを通じて絆を深め、生活面の向上の一助となることを目的としています。1月21日（土）10時、初級クラスから順に競技をスタートしました。レースは上級・中級・初級・ゲストメーション（健常参加者）に分かれて、日本全国から集まった約70名の選手が熱戦を繰り広げました。今回は記念大会ということもあり、十数年ぶりに多くの方々が参加しました。勝敗はタイムの速い遅いではなく、同じコースを2回滑り、2回のタイム差が一番少ない選手が優勝となるチャレンジタイムレースで、自分のリズムを守って2本滑りきることが重要となります。

軽井沢プリンスホテルスキー場は、首都圏からのアクセスが抜群で、人口雪で常にベストコンディションに保たれており、晴れた日にはすぐ近くに浅間山を望むことができるという最高のロケーションです。競技が行われたパラレルコースは、初心者から中級者までが楽しめる人気のコース。前日から降っていた雪も競技の開始までにはすっかりやんで、雲間から太陽の光が射し、絶好のスキー日和になりました。ゲレンデも、



チェアスキーで風を切って疾走

新雪のパウダースノーで視界も良好、最高のスキーコンディションとなりました。赤と青の旗門が交互にセットされた全長約600m、最大斜度17°、平均斜度11°のパラレルコースを第1滑走の選手を皮切りに次々とスタートしていきましました。立位・チェアスキー・ブラインドスキーなど、それぞれの状況に応じて用具や滑り方を工夫して思いきり風を切って旗門を通過し、滑走。競技スキーとほぼ同等の大回転コースをハンディをものともせず滑る、人生を前向きに生きる方々のレースは、競技役員を務めたスキー場の関係者やゲストメーションに参加した選手たちにも勇気と感動を与えてくれました。

大会終了後は表彰式と交流会が行われ、40回記念大会の名にふさわしく、会場は大いに盛り上がり笑顔が溢れていました。参加してくれた選手の皆さんをはじめ、長い間準備にあたられた日本身体障害者スキー協会及び大会開催に尽力くださった全ての関係者の皆様に深く感謝申し上げます。



アウトリガーを使用して滑り降りる

試合結果		
上級優勝	工藤 正博（山形県）	タイム差 0秒06
中級優勝	垣内いと子（埼玉県）	タイム差 1秒25
初級優勝	松村 政男（富山県）	タイム差 2秒39
ゲストメーション	竹内 利子（兵庫県）	タイム差 0秒42
ゲストメーション（ジュニア）	阿部萌乃和（新潟県）	タイム差 0秒47

日 程：平成29年1月20日（金）～21日（土）

場 所：軽井沢プリンスホテルスキー場（長野県北佐久郡）

主 催：日本身体障害者スキー協会

共 催：テレビ朝日福祉文化事業団

後援・協力：長野県・長野県教育委員会・軽井沢町・軽井沢町教育委員会・長野県スキー連盟・長野県障がい者福祉協会・長野県障害者スポーツ協会 ほか

●障がい者施設への設備助成

助成

テレビ朝日福祉文化事業団は、平成5年度から、公的資金援助では充分とはいえない障がい者の皆さんが働く地域活動支援センター（小規模作業所）に対し、わずかでも環境改善や効率アップに繋がることを願って、施設の運営に必要な器具等、1事業施設に対して30万円以内の物品をおくる設備助成を行っており、今年度で24年目になります。今年度は4月～5月に募集を実施、11件の応募があり、審査の結果5件の作業所に対して設備助成を行いました。今年度設備助成を実施した施設は以下の通りです。



エスプレッソマシンで極上のコーヒーをサービス

1	パソコン、ペンタプレート	カブカブ	神奈川県横浜市
2	物置	シャロームの家	神奈川県横浜市
3	椅子5脚	すてっぴ鎌倉ときわ	神奈川県鎌倉市
4	エスプレッソマシン	ふじのタンポポ	神奈川県相模原市
5	棚、ラベラー、レジスター、バスケット4個、椅子8脚 ほか	ロンの家福祉会	千葉県船橋市

施設からの感想(抜粋)

☆早速利用者の皆様に使っていただいたところ、大変好評です。ありがとうございました。
☆一層熱の入った活動となり、試行錯誤しながらこれからもメンバーが自信を持って、地域交流の場の発展となるよう頑張ります。近くへお越しの際は是非、お立ち寄り下さい。

☆ご利用者スタッフ共々感謝の気持ちでいっぱいです。今後は商品の製造により力を入れ、地域の皆様にもアピールしていきたいと思っています。



パソコン、ペンタプレート



椅子



レジスター



物置



棚



エスプレッソマシン



椅子



ラベラー

内閣総理大臣杯争奪

●第44回 日本車椅子バスケットボール選手権大会

後援 助成

日程：平成28年5月3日(火・祝)～5日(木・祝)
場所：東京体育館(東京都渋谷区)
主催：(一社)日本車椅子バスケットボール連盟、(公財)日本障がい者スポーツ協会、
(公財)日本バスケットボール協会
後援：スポーツ庁、東京都、渋谷区、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第10回記念 全東京ろう社会人軟式野球TDリーグ戦

後援 助成

日程：平成28年5月15日(日)～8月28日(日) 全5回
場所：新荒川大橋野球場(東京都北区) ほか
主催：全東京ろう社会人軟式野球連盟
後援：東京都、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第64回 全国盲人福祉施設大会

後援

日程：平成28年6月23日(木)～24日(金)
場所：ホテルヘリテージ(埼玉県熊谷市)
主催：(福)日本盲人社会福祉施設協議会
後援：厚生労働省、埼玉県、深谷市、熊谷市、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●むさしの会サマーキャンプ

助成

日程：平成28年8月5日(金)～7日(日)
場所：源泉湯の宿松乃井(群馬県利根郡)
主催：むさしの会

●チャレンジキャンプ

後援 助成

日程：平成28年8月9日(火)～12日(金)
場所：HCG(ヒゲッチャンプグラウンド)(埼玉県児玉郡)
主催：児童養護施設カルテット
後援：テレビ朝日福祉文化事業団

●日本車椅子バスケットボール連盟 第13回 ジュニア選手育成講演会

後援 助成

日程：平成28年8月25日(木)～28日(日)
場所：乗鞍青少年交流の家(岐阜県高山市)
主催：(一社)日本車椅子バスケットボール連盟
後援：テレビ朝日福祉文化事業団

●第39回 わらじの会 夏合宿

助成

日 程：平成28年8月26日(金)～28日(日)
場 所：伊豆潮風館(静岡県伊東市)
主 催：わらじの会

●第33回 全国高校生の手話によるスピーチコンテスト

後援

日 程：平成28年8月27日(土)
場 所：有楽町朝日ホール(東京都千代田区)
主 催：(一財)全日本ろうあ連盟、(福)朝日新聞厚生文化事業団、朝日新聞社
後 援：厚生労働省、文部科学省、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか



●第32回 DPI(障害者インターナショナル)日本会議全国集会 in 東京

後援

助成

日 程：平成28年9月22日(木)
場 所：戸山サンライズ(東京都新宿区)
主 催：(特)DPI日本会議
後 援：内閣府、外務省、厚生労働省、国土交通省、文部科学省、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第41回 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会

後援

助成

日 程：平成28年9月23日(金)～25(日)
場 所：荒川総合運動公園野球場ほか(東京都荒川区)
主 催：全日本ろう社会人軟式野球連盟
後 援：埼玉県、スポーツ庁、厚生労働省、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第20回 電動車椅子サッカー関東大会

後援

助成

日 程：平成28年9月24日(土)
場 所：さいたま市記念総合体育館(埼玉県さいたま市)
主 催：関東ブロック電動車椅子サッカー協会
後 援：埼玉県、さいたま市、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか



●第31回 全日本視覚障害者柔道大会

後援

助成

日 程：平成28年11月27日(日)
場 所：講道館(東京都文京区)
主 催：(特)日本視覚障害者柔道連盟
後 援：スポーツ庁、厚生労働省、東京都、全国盲学校長会、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第54回「弘済学園 わたしたちが創る展」

後援

日 程：平成28年12月5日(月)～7日(水)
場 所：JR東京駅丸の内地下南口動輪の広場(東京都千代田区)
主 催：(公財)鉄道弘済会、(福)東京都社会福祉協議会
後 援：テレビ朝日福祉文化事業団 ほか
特別協力：(株)石原プロモーション

●わんぱくクラブ育成会「木山裕策コンサート」

後援

日 程：平成28年12月11日(日)
場 所：世田谷区民会館(東京都世田谷区)
主 催：(特)わんぱくクラブ育成会
後 援：世田谷区、世田谷区教育委員会、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第32回 関東大会(身体障がい者スキー)

後援

助成

日 程：平成29年2月3日(金)～5日(日)
場 所：丸沼高原スキー場(群馬県利根郡)
主 催：(公財)日本身体障害者スキー協会 ほか
後 援：テレビ朝日福祉文化事業団

厚生労働大臣杯争奪

●第46回 全国身体障害者スキー大会

後援

助成

日 程：平成29年3月9日(木)～11日(土)
場 所：菅平高原スキー場(長野県上田市)
主 催：(公財)日本障がい者スポーツ協会、日本身体障害者スキー協会
後 援：厚生労働省、スポーツ庁、(公財)全日本スキー連盟、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●ダイバーシティ MAZEKOZEアート展

助成

日 程：平成29年3月11日(土)～31日(金)
場 所：伊藤忠青山アートスクエア(東京都港区)
主 催：(一社) Get in touch



●第8回 はーとふるメッセ実りの集い ～はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー2016～

後援

助成

日 程：平成29年3月18日(土)
場 所：イオンモール幕張新都心(千葉県千葉市)
主 催：千葉県、千葉県障害者就労事業振興センター
後 援：千葉ロッテマリーンズ、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか



高齢者福祉

● 高齢者施設訪問

主催



こまどり姉妹

特別養護老人ホームやデイサービスセンターなどの高齢者施設をプロの歌手が訪問し、高齢者の皆さんに楽しい時間を過ごしていただくというのがこの高齢者施設訪問です。



どこの会場も超満員

昭和62年に施設訪問が始まってから、合計208回を数えました。それぞれの施設の皆さんと一緒に手拍子进行しながら、ともに口ずさんだり身体全体で喜びを表わしてくれました。民謡から歌謡曲まで、若かりし頃を懐かしみながら、笑顔あり、涙ありの楽しい施設訪問となりました。

今年度は、こまどり姉妹さんが4回、園まりさんが

3回、原田直之さんが3回、大島花子さんが3回、大津美子さんが2回、佳山明生さんが2回登場。東京都と神奈川県を中心に合計17の施設を訪問しました。



民謡から歌謡曲まで



大津美子

原田直之

園まり

大島花子

佳山明生

出演者からの一言

☆原田直之さん(民謡歌手)

施設入居者の慰問で歌う時に感じることは皆の顔が生き生きと輝いていることです。そして一緒に口を動かして歌ってくれます。民謡は勿論その他の歌も同じことです。自分のこれまでの人生を聞いた感じで懐かしく思い出すのだと思います。ですから終わった後はとっても爽やかな気持ちになりますネ！歌には心を動かす大きな力があるといつも感じます。

☆園まりさん(歌手)

色々な高齢者施設を訪問させて頂くと、人と人の絆の大切さをしみじみと、皆さんから教えられます。一緒に歌って、励まし合って、人生を共有できるステージが私にとって大きな喜び…。ご縁に感謝し、これからも、ひとりでも多くの方々に会いたいと願ってます。

参加施設の感想文(抜粋)

☆本日は、元気の出る歌謡ショーをありがとうございました。また、機会がありましたらよろしくお願いします。

☆素敵なコンサートをありがとうございました。私が担当したイベントで最も多くの方々に越えただき、大絶賛でした。往年のスターが目の前にいることが利用者にとりまして、素敵な思い出となりました。

☆施設の玄関ホールにサインして頂いた色紙を飾らせていただきました。利用者が今でも「楽しかった」と話しています。

☆大変素敵な時間を企画していただきありがとうございます。入居者さんたちもとても喜んでいました。皆さん感謝感激でした。重ねてお礼申しあげます。

☆先日は大変素敵な歌謡ショーを拝見することができました。ショーが終わっても「余韻さめやらぬ」ような様子でした。

●第8回 国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」

特別後援 助成

《ゴールデンエイジ!》この言葉には人生の豊かさ、優しさを育む響きを持っています。大航海を無事乗り越えてきた悠々とした風格を感じさせます。そんなゴールデンエイジの仲間たちの輪を合唱という大きな響きにして横浜から発信しようと2008年横浜開港150年記念の事業の一環として始まった国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」が、音楽を志す者であれば

誰もが憧れ、夢見る「横浜みなとみらいホール」で4月11日、12日、13日の3日間にわたって開催されました。

今年は海外からの参加、台湾1団体を含めた88団体、指揮者、伴奏者、他楽器演奏者を含め、3097人が参加しました。皆さん生き生きと楽しそうに歌声を披露し、会場から盛んな拍手喝采をあげていました。



88団体、3097人が参加

日程	平成28年4月11日(月)～13日(水)
場所	横浜みなとみらいホール(神奈川県横浜市)
主催	横浜みなとみらいホール (特)ゴールデンウェーブ
後援	神奈川県・横浜市 ほか
特別後援	(福)朝日新聞厚生文化事業団 テレビ朝日福祉文化事業団

地域公益活動

●中井貴恵朗読公演 音語り 共催 助成

昨年度から行っている「地域における公益的な取組」
として女優中井貴恵さんの朗読公演「音語り 東京物
語～小津安二郎映画を聞く～」・「音語り あらしのよ
るに」を開催しました。



「東京物語」を朗読する中井貴恵さん

「音語り 東京物語～
小津安二郎監督映画を聞
く～」は、夏日となった5
月5日の子どもの日に「と
しま国際アート・カル
チャーフォーラム」の第1
回目の特別企画として、12月に小津監督生誕の地深川
で江東シネマフェスティバルの10周年記念特別企画と
して、それぞれの自治体と共催で行ったものです。また、
「音語り あらしのよるに」は、母子生活支援施設に住
み普段外出を控えている子どもたちとお母さんに外に
出て楽しく過ごしてもらうことを目的に、共催・助成

音語り 東京物語 ～小津安二郎映画を聞く～

豊島区

日 程 ： 平成28年5月5日(木・祝)

場 所 ： あうるすぽっと(東京都豊島区)

主 催 ： としま国際アート・カルチャーフォーラム
実行委員会
(豊島区、東京芸術劇場
(公財)としま未来文化財団)

共 催 ： テレビ朝日福祉文化事業団

江東区

日 程 ： 平成28年12月3日(土)

場 所 ： 古石場文化センター(東京都江東区)

主 催 ： (公財)江東区文化コミュニティ財団
江東区古石場文化センター

共 催 ： テレビ朝日福祉文化事業団



音語り「あらしのよるに」で朗読する中井貴恵さんとピアノ演奏の松本峰明さん

事業として1月に継続開催しています。

公演は、前半が中井貴恵さんとジャズピアニスト松
本峰明さんと中井貴恵さんのトークや観客とのやり取り、
後半が朗読公演「音語り」の2部構成です。「東京物語」
「あらしのよるに」のいずれも、観客は、中井貴恵さん
が映画や絵本の主人公たち、そこに描かれた場面場面
を丁寧に語る言葉に引き込まれ、松本峰明さんのジャ
ズピアノの音色に酔いながら思い思いの情景を頭に描
いて自分だけの物語を紡いでいきます。どの公演も皆
が物語の余韻を楽しんで
いるのが印象的でした。

今後も自治体や社会福
祉協議会などと連携し、
「地域における公益的な取
組」を実施していきます。



ジャズピアニスト松本峰明さん

音語り あらしのよるに

日 程 ： 平成29年1月22日(日)

場 所 ： 千葉市民会館(千葉県千葉市)

主 催 ： 千葉県児童福祉施設協議会
母子生活支援施設部会

共 催 ： テレビ朝日福祉文化事業団



その他の福祉事業・団体への支援

●プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント 助成

神宮球場で行われるプロ野球ヤクルト戦のBOX席の入場券を、(福)東京都社会福祉協議会 東京善意銀行
を通じて毎年プレゼントしています。今年度は、精神障がい者地域生活支援センターや通所作業所、就労移
行支援センター、知的障がい者入所更生施設など、東京都内の障がい者施設などの82施設に、195枚をプレ
ゼントしました。

●第1回 港区地域福祉フォーラム 出席

日 程 ： 平成28年11月30日(水)

場 所 ： 高輪区民センター(東京都港区)

主 催 ： (福)港区社会福祉協議会

●第65回 東京都社会福祉大会 協賛

日 程 ： 平成28年12月16日(金)

場 所 ： 東京都庁第一本庁舎 5階 大会議場(東京都新宿区)

主 催 ： 東京都、(福)東京都社会福祉協議会、(福)東京都共同募金会

<テレビ朝日ドラえもん募金報告>

●熊本地震被災者支援

テレビ朝日では、熊本地震により甚大な被害に遭った被災者を支援するための「ドラえもん募金」を実施い
たしました(4月18日～29日)。

お寄せいただいた募金にテレビ朝日からの寄付金などを加えた総額6,400万円の募金は、5月10日にテレ
ビ朝日福祉文化事業団を通じて、以下の通り寄託されました。

<寄託先>
熊本県

6,400万円

＜平成28年度事業一覧＞

	事業名	名義
児童	児童養護施設で生活する高校生の海外生活体験の旅	主催
	第4回農村ホームステイ体験の旅	主催
	～テレビ朝日に集合～テレビ朝日見学と特別講座	主催
	第5回子どもキラット! 楽演祭	主催
	江戸っ子杯争奪東京都児童福祉施設競技大会 2016 野球の部	共催・助成
	児童福祉施設職員のためのワークショップ	主催名義・助成
	第61回全国里親大会 茨城大会	共催名義
	第58回慈彩会展	後援・助成
	第62回関東甲信越静里親研究協議会 茨城大会	後援・助成
	こどもの国 ジャンボカルタとり大会・どんど焼き	後援・助成
	「憩いの家」資金バザー	後援名義
	日本児童養護実践学会第9回研究大会	後援名義
母子	母子のためのテレビ朝日見学体験ツアー	主催
障がい者	第8回トゥレヴァン コンチェルト	主催
	第39回車椅子バスケットボール秋季大会	共催・助成
	第40回ハンディスキー全国親善大会 第40回記念軽井沢大会	共催・助成
	内閣総理大臣杯争奪第44回日本車椅子バスケットボール選手権大会	後援・助成
	第10回記念全東京ろう社会人軟式野球TDリーグ戦	後援・助成
	チャレンジキャンプ	後援・助成
	日本車椅子バスケットボール連盟 第13回ジュニア選手育成講習会	後援・助成
	第33回全国高校生の手話によるスピーチコンテスト	後援・助成
	第32回DPI(障害者インターナショナル) 日本会議全国集会 in 東京	後援・助成
	第41回全日本ろう社会人軟式野球選手権大会	後援・助成
	第20回電動車椅子サッカー関東大会	後援・助成
	第31回全日本視覚障害者柔道大会	後援・助成
	第32回関東大会(身体障がい者スキー)	後援・助成
	厚生労働大臣杯争奪第46回全国身体障害者スキー大会	後援・助成
	第8回はーとふるメッセ実りの集い～はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー2016～	後援・助成
	第64回全国盲人福祉施設大会	後援名義
	第54回「弘済学園 わたしたちが創る展」	後援名義
	わんぱくクラブ育成会「木山裕策 コンサート」	後援名義
	障がい者施設などに対する設備助成	助成
	むさしの会サマーキャンプ	助成
	第39回わらじの会 夏合宿	助成
	ダイバーシティ MAZEKOZEアート展	助成
高齢者	高齢者施設訪問	主催
	第8回国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」	特別後援・助成
地域公益活動	中井貴恵朗読公演「音語り 東京物語～小津安二郎映画を聞く～」	共催・助成
	中井貴恵朗読公演「音語り あらしのよるに」	共催・助成
その他	プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント	助成
	第1回港区地域福祉フォーラム	出展
	第65回東京都社会福祉大会	協賛名義

＜平成28年度会計報告＞

●事業活動計算書

自：平成28年4月1日 至：平成29年3月31日

(単位：円)

勘定科目			当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)－(B)
サービス活動増減の部	収益	寄附金収益	38,621,279	35,567,772	3,053,507
		事業収益	0	0	0
		その他の収益	0	0	0
		サービス活動収益計(1)	38,621,279	35,567,772	3,053,507
	費用	人件費	1,606,639	1,603,235	3,404
		事業費(①+②+③+④+⑤)	47,178,191	50,134,637	-2,956,446
		①児童福祉費	15,263,581	15,425,721	-162,140
		②高齢者福祉費	6,999,224	8,288,996	-1,289,772
		③障がい者福祉費	17,946,757	19,197,912	-1,251,155
		④母子福祉費	622,476	967,497	-345,021
		⑤その他事業費	6,346,153	6,254,511	91,642
		事務費	1,424,817	1,407,422	17,395
		基金組入額	0	0	0
		減価償却費	0	0	0
サービス活動費用計(2)	50,209,647	53,145,294	-2,935,647		
サービス活動増減差額(3)＝(1)－(2)		-11,588,368	-17,577,522	5,989,154	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	2,887,386	3,134,855	-247,469
		有価証券売却益	0	0	0
		投資有価証券売却益	0	0	0
		その他のサービス活動外収益	0	0	0
		サービス活動外収益計(4)	2,887,386	3,134,855	-247,469
	費用	有価証券売却損	0	0	0
		投資有価証券売却損	0	0	0
		その他のサービス活動外費用	0	0	0
		サービス活動外費用計(5)	0	0	0
	サービス活動外増減差額(6)＝(4)－(5)		2,887,386	3,134,855	-247,469
経常増減差額(7)＝(3)＋(6)		-8,700,982	-14,442,667	5,741,685	
特別増減の部	収益	固定資産受贈額	0	0	0
		固定資産売却益	0	0	0
		その他の特別収益	0	0	0
		特別収益計(8)	0	0	0
	費用	基本金組入額	0	0	0
		固定資産売却損・処分損	0	0	0
		その他の特別損失	0	0	0
		特別費用計(9)	0	0	0
	特別増減差額(10)＝(8)－(9)		0	0	0
	当期活動増減差額(11)＝(7)＋(10)		-8,700,982	-14,442,667	5,741,685
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	46,861,822	31,304,489	15,557,333	
	当期末繰越活動増減差額(13)＝(11)＋(12)	38,160,840	16,861,822	21,299,018	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	
	基金取崩額(15)	0	30,000,000	-30,000,000	
	その他の積立金取崩額(16)	0	0	0	
	その他の積立金積立額(17)	0	0	0	
	次期繰越活動増減差額(18)＝(13)＋(14)＋(15)＋(16)－(17)	38,160,840	46,861,822	-8,700,982	

<その他>

●平成28年度 ご寄付者の報告

企業・団体・個人の皆さまからご寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。

寄付金合計 **38,621,279**円

★ 一般寄付 （敬称略）

個人 …………… 86人
企業・団体 ……… 52社・団体
アラコム(株)、ALSOK東京(株)、(株)伊佐梅、(株)大塚商会、(株)関電工
九州巨人軍愛好会、(株)コマデン、(株)笹谷商事、(株)サンフォニックス、(株)シービーエス
城南質屋協同組合、新日本プロレスリング(株)、ダイダン(株)、(株)台東サービス
(株)竹中工務店、中央ろうきん社会貢献基金、(株)テルミック
(株)東京サウンド・プロダクション、東京原宿ライオンズクラブ、(株)東京美術
東京労働者福祉協議会、東京六本木ライオンズクラブ、日本歯科衛生協会
日本郵政グループ労働組合東京地方本部、（公財）原田積善会、富士ゼロックス(株)
富士通(株)、(株)ミヤギ、横浜エレベーター(株)東京支店、リゾートトラスト(株)
(株)テレビ朝日、(株)ビーエス朝日、(株)シーエス・ワンテン、テレビ朝日映像(株)
(株)テレビ朝日サービス、(株)テレビ朝日ミュージック、(株)ビデオ・パック・ニッポン
(株)フレックス、シンエイ動画(株)、(株)放送技術社、(株)テイクシステムズ
(株)トラストネットワーク、(株)テレビ朝日クリエイト、(株)テレビ朝日ベスト
(株)文化工房、(株)ロッピングライフ ほか

★ 物資などのご協力 1 社

(株)テレビ朝日

●貸借対照表 平成29年3月31日現在

（単位：円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	49,120,908	57,938,354	-8,817,446	流動負債	236,628	973,252	-736,624
現金預金	48,845,961	57,528,738	-8,682,777	事業未払金	163,368	857,138	-693,770
仮払金	274,947	409,616	-134,669	その他の未払金	0	0	0
有価証券	0	0	0	預り金	0	40,933	-40,933
事業未収金	0	0	0	職員預り金	73,260	75,181	-1,921
未収金	0	0	0	前受金	0	0	0
立替金	0	0	0	仮受金	0	0	0
前払金	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
前払費用	0	0	0				
その他の流動資産	0	0	0				
徴収不能引当金	0	0	0				
固定資産	970,000,000	970,000,000	0	固定負債	10,723,440	10,103,280	620,160
基本財産	100,000,000	100,000,000	0	退職給付引当金	10,723,440	10,103,280	620,160
定期預金	0	0	0	負債の部合計	10,960,068	11,076,532	-116,464
投資有価証券	0	0	0	純 資 産 の 部			
決済性普通預金	100,000,000	100,000,000	0	基本金	100,000,000	0	100,000,000
その他の固定資産	870,000,000	870,000,000	0	基本財産基金	100,000,000	0	100,000,000
その他財産	870,000,000	870,000,000	0	基金	870,000,000	970,000,000	-100,000,000
退職給付引当資産	0	0	0	基本財産基金	0	100,000,000	-100,000,000
投資有価証券	0	0	0	その他財産基金	870,000,000	870,000,000	0
その他の固定資産	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
				その他の積立金	0	0	0
				次期繰越活動増減差額	38,160,840	46,861,822	-8,700,982
				次期繰越活動増減差額	38,160,840	46,861,822	-8,700,982
				（うち当期活動増減差額）	-8,700,982	-14,442,667	5,741,685
				純資産の部合計	1,008,160,840	1,016,861,822	-8,700,982
資産の部合計	1,019,120,908	1,027,938,354	-8,817,446	負債及び純資産の部合計	1,019,120,908	1,027,938,354	-8,817,446

＊平成28年度決算報告書より抜粋
詳細は、当事業団のホームページをご覧ください。

●テレビ朝日福祉文化事業団 役員・評議員

(平成29年3月31日現在)

役職名	氏名	職業
理事長 評議員	吉田 慎一	株式会社テレビ朝日ホールディングス 代表取締役社長
副理事長 評議員	福田 俊男	株式会社テレビ朝日 専務取締役
理事 評議員	高橋 利一	社会福祉法人至誠学園立川 至誠学園 顧問 名誉学園長 法政大学名誉教授
理事 評議員	石野 清治	社会福祉法人同愛記念病院財団 会長
理事	山崎 哲男	弁護士 日比谷見附法律事務所 東京六本木ライオンズクラブ
理事	岩尾 總一郎	医療法人社団健育会 副理事長 医学博士 慶応義塾大学医学部客員教授
評議員	宮沢 成実	元社会福祉法人東京都社会福祉協議会 総務部企画担当
評議員	岩崎 浩三	特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会 理事
評議員	根本 保	元株式会社ピーエス朝日 常勤監査役
評議員	岸田 晟	一般社団法人日本民生文化協会 会長
評議員	東 ちづる	一般社団法人 Get in touch 理事長 女優
評議員	椎橋 敏	公益財団法人原田積善会 顧問
評議員	香山 敬三	株式会社テレビ朝日 経理局長
評議員	池上 和子	赤坂アイ心理臨床センター代表 学術博士 東北福祉大学特任准教授
評議員	是永 一好	社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団 事務局長
監事	平田 和子	税理士 平田和子税理士事務所
監事	若穂井 透	弁護士 日本社会事業大学専門職大学院特任教授

【ご寄付のお願い】

テレビ朝日福祉文化事業団の活動は、皆さまからのご寄付によって支えられています。
当事業団へのご寄付は、特定寄付金となります。個人の場合は所得税の寄付金控除として、
法人の場合は法人税の損金算入の対象となります。
ご寄付は、当事業団が実施する児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、母子福祉ほか
さまざまな社会福祉事業へ充てさせていただきます。
なお、ご寄付の方法は下記のとおりです。

記

- 郵便振替
口座番号 00110-6-761778
口座名(加入者名)「こころの樹」
※通信欄に「寄付金」とご記入ください。
- 現金書留で郵送
〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1 森タワー16階
テレビ朝日福祉文化事業団 行
※連絡先を同封してください。領収書をお送りいたします。
- 銀行振込希望の方は、事務局へご連絡ください。
電話 03-6406-2195 FAX 03-3405-3797



テレビ朝日福祉文化事業団 事業報告
平成28年度(2016年度)
年報 こころの樹
発行人 佐藤佳則

平成29年(2017年)6月30日発行
社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団
〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1 森タワー16階
TEL 03-6406-2195 FAX 03-3405-3797
<http://www.tv-asahi.co.jp/fukushi/>
E-mail : fukushi@tv-asahi.co.jp

※文中の役職等は、その時点での表記といたしました。
※無断転載は禁じます。
©2017 tv-asahi welfare foundation